

能く肥え居たればハダカで寫す。寫真がすみ、一寸母が、油斷なし居るまに「ウンコ」を澤山して其汚れた處を切に手でかきまはして居たには、閉口した。

一週間の献立

某 夕 女

日	晝	鯛鹽燒	鶏肉スープ
月	にまめ	せんまい、あげ、(にしめ)	ほうろくにつけ
火	くわいにんどん、(にしめ)	ねぎま	ピフステーキ
水	はせこぶま	とろ汁	
木	はす	さしみ	
金	ばとらみ	牡蠣フライ	
土	朝は味噌汁と香の物だけなり		



小笠原父島の二見港

や て

東京を南に距る海路五百三十哩ばかりの海中に一島がある、即ち小笠原群島の父島なり。此の群島は北緯廿六度卅二分に始まつて廿七度四十三分に終り、東經百四十二度五分から同十六度にわたり、大小九十有七の島嶼相連つて、南北に擴つて居るが、其の面積は全体を合算して、僅かに五方里餘に過ぎないのである。其の住民は千〇十六、四、千六百九十三人である。